神岡作業報告

- 2月4–7日に神岡にdechar開発用計算機を用意した。
- 基礎的な数値計算ライブラリ(GSL、Lapack、Blas、Atlas等)とLAL、GDS、Haskell、NDS2クライアントなどをインストール
- 希望者にアカウントを作ります。
- 坑内に入れるonline detchar計算機の必要性とその見積もり
- 坑内にNDS2の導入についての議論

その他

- 2月19日に京大の村主さんが大阪市大に来る。
  13:30〜HasKALのコードについて議論を行う予定。
- F2Fミーティングでは山本（市大）が話す。
- 2月20日以降に新たにHaskellゼミを始める予定。

HasKAL開発状況

- **githubにコードをおいて、そこで開発**
  https://github.com/gw-analysis/detector-characterization
- **Haskell用のNDS2クライアントモジュールを作成。データを取り寄せるモジュールのひな形ができた。次はチャンネルリストを取り寄せるモジュールを書く（端山）**
- **UTC <—> GPSモジュール（横澤）**
- **GUIモジュール（山本）**
- **KAGRADataFindモジュール（浅野）**
- **データ読み込みプロットチェック、HROOT確認（譲原）**

今週の活動

- F2Fミーティング参加（全員？）
- NDS2関連モジュールの開発
- 動的プロットの開発続き
- 計算機の見積もり
- ３D detchar GUIレイアウトの検討
- ...